

## 平成 30 年度大豆作況試験生育状況（7月 25 日付け調査結果）

### [ 生育概況 ]

7月以降、気温は平年より高く、日照時間は平年並～多く、降水量は平年より少なかった(表1)。

標播では、6月下旬以降の高温・多照傾向により生育は旺盛で、いずれの品種とも、調査項目すべてが平年を上回った(表2)。開花期は平年より4～5日早かった(表2)。

晩播では、7月以降の高温・多照傾向により、主茎節数が平年よりやや多かった(表2)。分枝の発生はまだない。

表 1 旬別の気象経過（アメダス古川）

項目	月・旬	5月		6月		7月	
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
平均気温	本年値(°C)	18.0	19.7	16.2	22.5	23.1	25.4
	平年差(°C)	+2.0	+2.1	-2.4	+3.1	+2.6	+3.6
積算日照時間	本年値(h)	93.0	77.2	21.7	70.9	37.4	47.8
	平年比(%)	134	130	44	179	98	133
積算降水量	本年値(mm)	12.5	10.0	26.5	37.5	40.0	7.0
	平年比(%)	34	33	63	65	68	12

表 2 7月 25 日付け調査結果（標播 | 7月 25 日調査，晩播 | 7月 24 日調査）

播種期	品種名		開花期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)
標播	タンレイ	本年値	7/22	79	15.2	3.7	34
		前年差	1日早	+4	-0.5	+0.7	+2
		平年差	4日早	+14	+1.0	+0.8	+4
	タチナガハ	本年値	7/22	71	15.9	4.9	40
		前年差	4日早	+1	+0.5	+2.3	+9
		平年差	5日早	+9	+1.7	+2.3	+13
ミヤギシロメ	本年値	7/29	79	15.9	4.0	39	
	前年差	2日早	+1	+1.6	+1.5	+10	
	平年差	4日早	+9	+1.7	+1.3	+11	
晩播	タンレイ	本年値	—	18	5.0	—	5.0
		前年差	—	+1	+0.6	—	+0.6
		平年差	—	+1	+0.6	—	+0.6

注1) タチナガハは出芽不良のため参考値とする

2) 平年差はH29を除く過去5か年の平均値との差

3) 栽植密度の設定は、標播が条間75cm・株間20cm，晩播が条間75cm・株間10cmとした（1株2粒播種）

# 平成 30 年度大豆生育調査ほ生育状況（7月 25 日付け調査結果）

表 3 7月 25 日付け調査結果

標・晩	品種名	普及 センター	栽植密度 (本/m <sup>2</sup> )	播種期(月/日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)			
				本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	
標播	タンレイ	仙台	8.9	5/30	7日早	-	51	+11	-	12.3	+2.6	-	2.3	+0.0	-	
		栗原	13.0	5/30	7日早	3日早	68	+8	+21	13.9	+2.1	+3.2	1.9	-0.2	+0.5	
	タチナガハ	登米	13.0	6/10	4日早	1日早	35	-9	+5	11.2	+0.8	+3.1	1.3	-0.3	+0.5	
	ミヤギシロメ	大河原	9.7	6/28	4日遅	10日遅	24	+3	-5	9.1	+2.7	+1.3	0.0	±0.0	-0.4	
		仙台	-	6/6	同日	-	48	+7	-	11.4	+1.6	-	2.3	-0.7	-	
		栗原	14.2	6/2	7日早	5日早	54	+1	+16	11.3	+0.4	+0.2	0.7	-0.4	+0.3	
		登米	11.9	6/18	同日	4日遅	32	-1	+6	10.1	+1.1	+2.1	1.6	+0.3	+0.9	
		石巻	9.4	6/25	5日遅	17日遅	23	-11	-16	7.6	-0.7	-2.5	0.3	-0.9	-1.1	
	晩播	タンレイ	石巻	13.5	6/12	4日早	7日早	38	+9	+12	9.6	+1.3	+2.3	1.6	+0.1	+1.3
		あやこがね	大河原	5.7	6/22	5日遅	同日	19	-2	-3	8.6	+2.1	+1.8	0.2	+0.2	+0.1

注1) 平年差はH29を除いた過去5か年の平均値との差を示す

2) 仙台の「タンレイ」及び「ミヤギシロメ」は調査ほの変更等のため平年値はない

3) 7月25日現在で開花期に達したのは、栗原の「タンレイ」(7/23, 平年より9日早い)、仙台の「タンレイ」(7/25)のみである

表 4 担当農業改良普及センターのコメント

普及センター	コメント
大河原	【ミヤギシロメ】 生育は概ね良好。 【あやこがね】 7月5日時点では、出芽揃いが悪く、アレチウリやアサガオ類がかなり繁茂していた。7月25日時点では、アサガオ類については中耕と除草剤により除草されていた。
仙台	【タンレイ】 砕土が粗く、出芽揃いまでやや時間を要した。やや干ばつ状態。サヤムシガの食害がやや見られる。 【ミヤギシロメ】 やや干ばつ状態。サヤムシガの食害がやや見られる。
登米	【タチナガハ】 【ミヤギシロメ】 生育は良好。
栗原	【タンレイ】 生育は良好。7月25日時点ではほぼすべての株で開花が見られる。雑草の目立った発生は見られない。 【ミヤギシロメ】 生育は良好だが、今後蔓化が懸念される草姿。雑草の目立った発生は見られない。
石巻	【タンレイ】 生育は良好。株間に前作の大麦が見られるが、その他雑草はほぼ見られない。葉に食害が小発生（前年より多い印象）。 【ミヤギシロメ】 播種の遅れにより生育量は平年より少ないが、生育は良好。前作の大麦がやや見られるが、その他雑草は見られない。葉食害が微発生。